

保護者の皆様へ

皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症拡大の傾向が続く中、本学の授業、学生の修学の状況についてご心配されていることと存じます。現在の状況および今後の授業、実習の方針につきまして、お知らせいたします。

5月7日に通知いたしましたとおり、本学では、学生の安全を最優先とし、令和2年度の授業（講義、実習）を夏季休業開始までは学修支援システム manaba を用いた e-learning 形式で実施しております。2年前に本学で導入致しました manaba は、学生と教員の双方向的なやり取りを可能にするシステムで、教員からの教材提示、授業に対する学生からの質問と教員からの回答、演習（チュートリアルなど）での学生同士の意見交換、小テストによる出席確認、レポート提出、学生の学修記録（ポートフォリオ）などのさまざまな機能を持っており、今回のオンライン形式の授業でもきわめて有効に活用されております。学生も manaba を用いた e-learning に習熟し、アンケートの結果からも教育効果を十分果たしていることが確認されております。

一方、manaba による教材提示主体の e-learning を補うために、オンデマンド動画もしくはライブ配信での授業も必要と考え、本学でもビデオ通信ツール Zoom を用いた授業の準備を進めております。夏休みまでの期間で一部の実習や演習で Zoom を取り入れ、順次、講義での導入も進めていく予定です。manaba を用いた e-learning は、学生からの一定の評価も得て行われています。しかしながら、データ通信量が大きくなる Zoom を用いたオンライン授業には、躊躇する学生も多い状態です。そのため、授業を全面的に Zoom によるオンライン授業に切り替えることはせず、manaba を用いた e-learning と併用する方針としております。また、自宅でのインターネット環境や受信機器の整備が不十分な学生につきましては、大学も、学内施設の開放、受信機器の貸与などの就学支援の準備も進めておりますが、インターネット環境等の整備につきまして、保護者の皆様からのご支援をお願い申し上げます。

今後、感染状況を注視しながら、本学の授業の通常化に向けた歩みを慎重に進めて参ります。夏休み明けには、医学科、看護学科の低学年での実習、演習、授業の一部を登校して行うよう準備しております。また、9月には前期定期試験を大学内で行う予定です。10月以降の後期授業の進め方についても現在検討しております。

医学科の臨床実習、看護学科第4学年の臨地看護学実習も学生と患者の安全を最優先して実施していきます。医学科第5学年の臨床実習は、病院施設外での対面型の実習を再開し、まもなく旭川医大病院内での実習に移行する予定です。また、医学科第6学年の臨床実習を8月に再開するために、準備しております。なお、今月中に医師国家試験の模擬試験を学内で実施いたします。

今後も学生の皆様の安全を最大限優先しつつ、学びの機会を可能な限り保証するよう努力を続ける所存です。保護者の皆様のご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和2年7月1日

旭川医科大学長
吉田 晃 敏